



レンジフード取付説明書

取扱説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告: 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意: 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告	
<p>分解・修理・改造禁止</p> <p>●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります</p>	<p>使用禁止</p> <p>●交流100V以外では使用しないこと 火災・感電の原因になります</p>
<p>取付注意</p> <p>●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと 誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります</p>	<p>給気注意</p> <p>●自然排気型のストーブを使用するときは、空気の入入口(給気口)により十分給気される配慮をすること 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります</p>
<p>取付注意</p> <p>●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けのこと 漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります</p>	<p>取付注意</p> <p>●レンジフードの取り付けは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないようにすること 漏電した場合、発火するおそれがあります</p>
<p>取付注意</p> <p>●排気工事をされる場合は建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと 火災などの原因になります</p>	<p>取付注意</p> <p>●本体は、可燃物との間10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと 火災などの原因になります 詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください</p>

注意	
<p>接触禁止</p> <p>●運転中は指や物を絶対に入れないこと けがをするおそれがあります</p>	<p>取付注意</p> <p>●部品の取り付けは確実に 落下によりけがをするおそれがあります</p>
<p>取付注意</p> <p>●本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下により、けがをするおそれがあります</p>	<p>手袋をする</p> <p>●取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります</p>
<p>取付禁止</p> <p>●周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと 火災・故障の原因になります</p>	<p>使用禁止</p> <p>●浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください) 感電および故障の原因になります</p>
<p>埋込禁止</p> <p>●レンジフードの壁への埋め込みはしないこと 漏電した場合、発火するおそれがあります</p>	
<p>必ず守る</p> <p>●換気扇(別途手配)は必ず25cmの金属製換気扇を使用すること 25cmよりも小さな換気扇を取り付けると、レンジフード内部の換気扇取付用ハーフカットを打ち抜いた切り口の鋭利な部分がむき出しになり、お手入れの際にけがをするおそれがあります レンジフード内部は高温になるため、樹脂製換気扇を使用すると変形、故障や火災につながるおそれがあります</p>	

取り付け前の調査と準備

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
 - 大工事(設置のための下地工事等)
 - 配線工事(コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等)
 - 管工事(ダクト配管及びレンジフードからのダクト接続等)
 流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。また調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- レンジフード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。
本体の取付用ねじは45mmの長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。
- 製品は調理機器の真上に取り付けてください。
なお、製品取付高さは、製品の下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。
- 建物が密閉されている場合は、必ず約400cm²程度の空気取入口を設けてください。
- 部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。

1. 取付面の強度確認

………製品を支える強さが必要です。

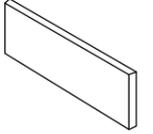
 - 板張りの場合
 - 板厚が20mm以下の場合には壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードを取り付けてください。
 - 板厚が20mm以上の場合には補強板の必要はありません。
 - コンクリート、タイル壁の場合
 - あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。
 - 土壁の場合
 - 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。
2. 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は調理機器の上面から製品の下端まで80cm以上です。

※火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となっています。

取り付けかた

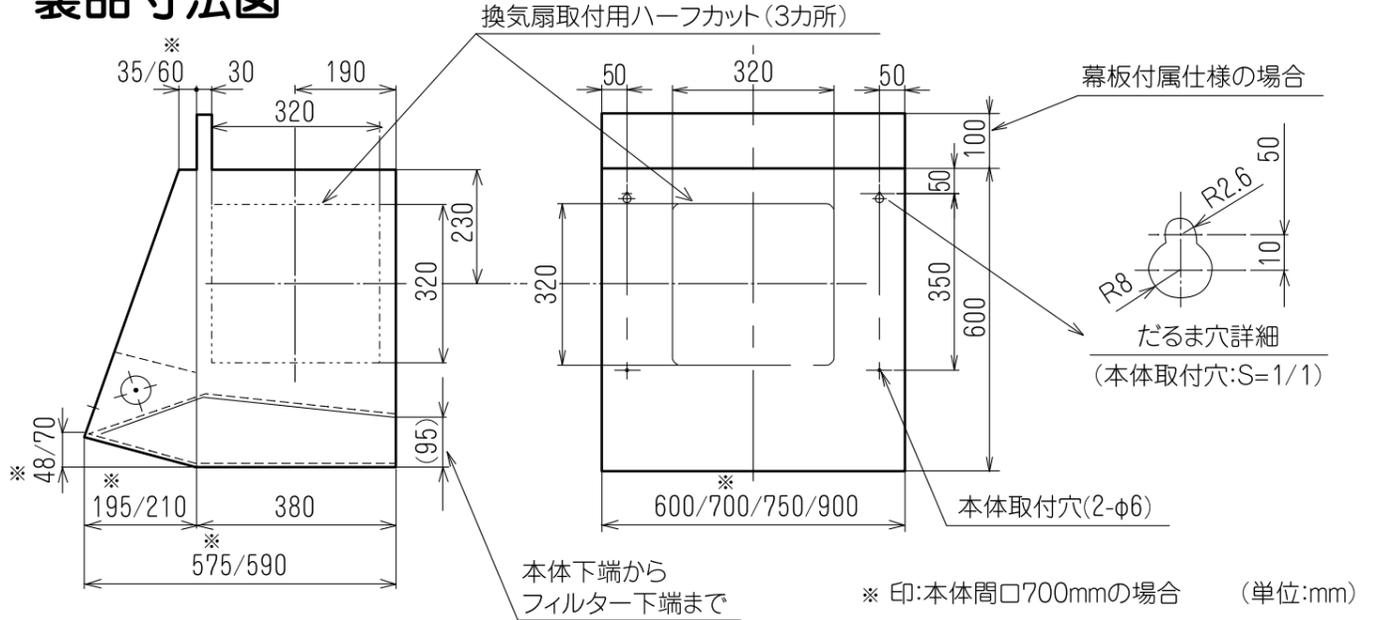
付属品

座付ねじ (φ5.1×45)		本体取付用 4本
幕板 幕板付属仕様の 場合		1個
取付ねじ (M4×10) 幕板に取付済		幕板取付用 2本

製品によりフィルター、照明装置の有無があります。
(700間口の製品には、フィルター、照明装置付きの設定はありません)

お願い フィルター付きで側方排気の場合には、紐付き換気扇は使用できません。

製品寸法図



1.排気穴工事

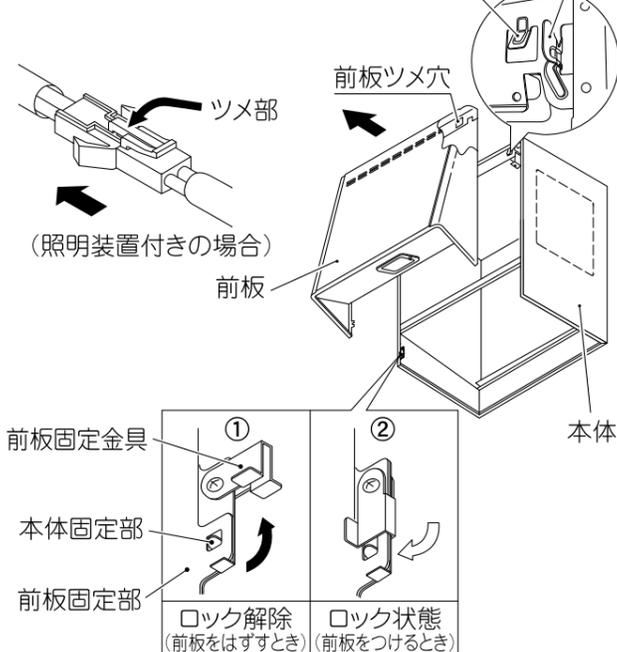
1.壁面に取付枠を取り付ける。

- 取付枠は内寸法300mm×300mmのものをお使いください。取付枠は20mm以上の不燃材を使用してください。
- 取り付け寸法に合わせて、壁面に孔をあけます。
(取り付け位置は、製品寸法図と右図を参照してください。)
製品は調理機器の真上に取り付けてください。
なお、製品取付高さは、製品の下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。
- 取付枠を壁に取り付けてしっかり固定してください。
(固定が不十分ですと騒音や雨漏りの原因となりますのでご注意ください。)
(取付枠の製作及び取り付けは大工工事とする)

お願い 換気扇は必ず25cmの金属製換気扇を使用してください。

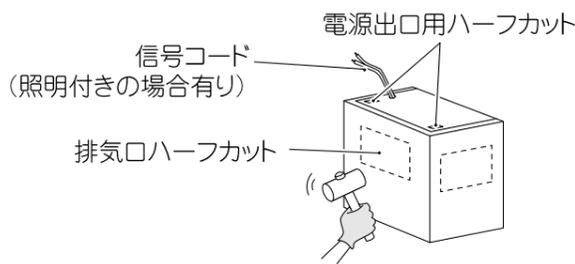
2.本体の準備

- フィルターをはずします。
(フィルター付きの場合) フィルターのとってを持ち奥に押す様にして取りはずします。
- 前板をはずします。
前板固定金具を内側に回転させ(図①)、ロックを解除し、前板ツメ穴を本体ツメ部からはずし、前板を手前に引いてはずします。



3.排気方向の決定

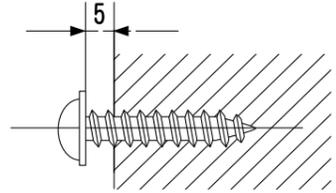
- 排気方向に合わせて、本体のハーフカットを打ち抜いて排気口をあけます。
電源コードを上に出す場合、電源コード出口用ハーフカットの必要な方を打ち抜いてください。
(ハーフカットは、ドライバー等をあてて小型のハンマーでたたくとあきます。)



お願い ハーフカット打ち抜き後の穴を拡大するような追加加工は鋭利な部分がむき出しになり、お手入れの際にけがをするおそれがあるため、絶対におやめください。

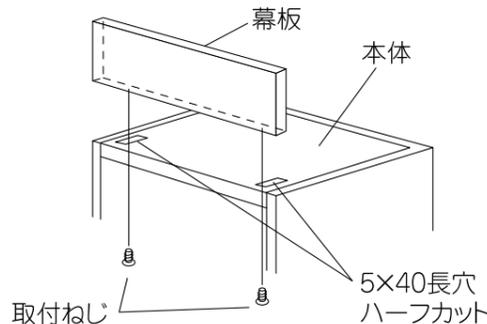
4.本体の取り付け

- だるま穴用座付ねじをねじ込む。
だるま穴位置(左右各1カ所)に座付ねじ(φ5.1×45)を壁面との隙間5mmまで締め付けます。
- だるま穴用座付ねじに本体を引っ掛けた後、座付ねじ(φ5.1×45)で本体取り付け位置2カ所をしっかりと締め付けます。
- だるま穴用ねじ(左右各1カ所)をしっかりと締め付けます。



5.幕板の取り付け

- (幕板付属仕様の場合)
- 本体上前面部のハーフカットにドライバー等をあててハンマーで打ち抜きます。
 - 幕板に取り付けてある取付ねじにて、本体の内側より幕板を取り付けます。



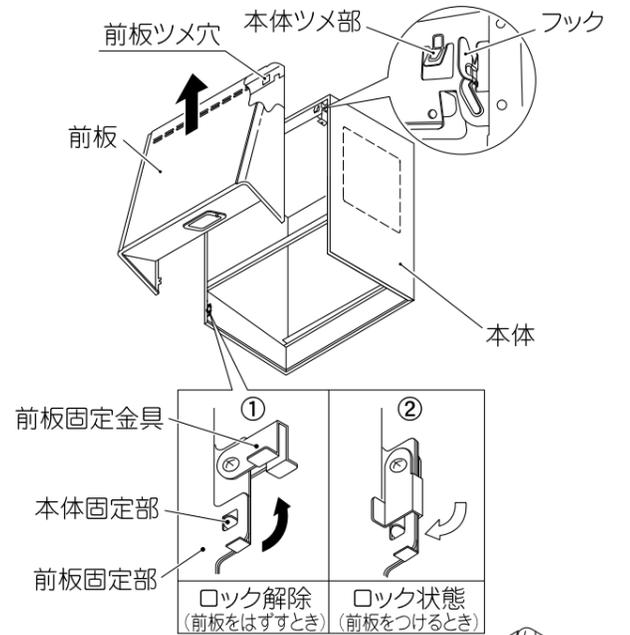
6.組み立て

■ 組み立ては、2.本体の準備の項と逆の順序で組み立てを行ってください。

お願い 前板の取り付けは、確実に行ってください。確実に取り付けが行われないと、ご使用の際に前板が落下しけがのおそれがあります。

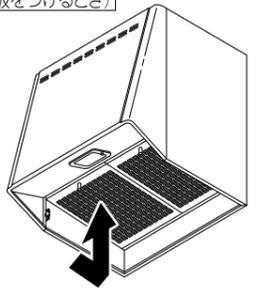
※ 前板を取り付ける場合

- 前板を両手で持ち、本体のフック(左右2ヶ所)に引っ掛けます。
- 前板ツメ穴を本体ツメ部にはめこみ、すきまがないようにななめに押し上げます。
- 前板の下の前板固定部を本体固定部にはめこみます。(図①)
- 前板固定金具(左右2ヶ所)を下に回転させてロックを確認し(図②)前板を確実に固定させます。
- コネクターを差し込みます。(照明装置付きの場合)コネクターはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。
差し込みの向きを間違えたり、確実に差し込まなかった場合、故障の原因になります。



※ フィルター付きの場合

- フィルターを取り付けます。



7.お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

製造元: **-FUJIOH-** 富士工業株式会社
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号
お客様ご相談窓口 0120-071-686 (通話料無料)